

2016年11月21日

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

Cisco IOS/IOS-XE ソフトウェアに関する脆弱性について

Cisco IOS/IOS-XE ソフトウェアの DNS フォワーダに脆弱性が存在する事が判明しました。

この脆弱性を利用して、未承認のリモート攻撃者により機器の再起動などが引き起されたり、デバイスのローカル DNS キャッシュやプロセスのメモリの一部を読み取ることが可能になります。

■脆弱性の詳細情報

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20160928-dns>

■対象製品

IOS/IOS-XE ソフトウェア製品全般

通常、DNS サーバ機能は無効 (disable) となっているため、以下のコマンドを実行しステータスを確認してください。

```
router#show running-config | include ip dns server
ip dns server ←有効となっています。
router#
```

■対象ソフトウェアバージョン

対象バージョンのリストは公開されていませんので、下記 Tool を使って使用の有無を確認してください。

Cisco IOS Software Checker

<http://tools.cisco.com/security/center/selectIOSVersion.x>

■ 対処方法

修正ソフトウェアへのバージョンアップを行ってください。

修正ソフトウェアのバージョンは、下記「Known Fixed Releases」を参照してください。

Cisco IOS and IOS XE Software DNS Forwarder Denial of Service Vulnerability
CSCup90532

<https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/bug/CSCup90532>

■ 修正ソフトウェアの入手方法

以下のサイトから入手可能です（事前にアカウント登録必要）

<http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html>

お問い合わせは、弊社担当営業までお願いいたします。

以 上